

会 議 録

会 議 名	第5回粕屋町障害福祉計画推進協議会	
開 催 日 時	令和6年3月12日（火） 午前・ 午後 2時03分から 午前・ 午後 3時05分まで	
開 催 場 所	粕屋町役場 2階 防災会議室	
出席者	委 員	伴英明、香田和憲、満安和代、内田肇、山本一郎、麻田春太
氏名	職員・職氏名	白久喬史郎、満行音々
欠席委員（者）氏名	松尾早智代、小山田純子	
会議の公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 全部非公開	
会議を公開しない理由		
傍聴人の数	0 人	
会議資料の名称	レジュメ、人権を尊重する町民のつどいアンケート結果、令和3、4、5年度活動評価結果	

審議会等の内容

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

■ 12月3日 人権のつどいの反省について

（内田）多目的ホールで映画を上映していたが、疑似体験やワークショップの対応で映画を見られないことが多かった。委員や参加事業者も映画を見てもらい、メッセージを感じてもらいたい。

（山本）映画は、見て感じて考えてもらう必要があるため、上映中はイベントを実施せず、映画に集中してもらうべき。総合案内を設置し、実施している内容をチラシや配置図で案内できるようにすべき。

（伴）多目的ホールでの映画上映は子連れなどに使用しやすい場所だったと思う。上映中は多目的ホールでのワークショップ、体験、喫茶、物販は中止してはどうか。ロビーの物販は参加事業所が増え、チラシを配布したため周知にもつながりよかった。

（香田）上映中でも映画に興味のない人は飲み物をもらいに来る人もおり、多目的ホールが暗く手元が見えづらいため飲み物を準備することが難しかった。

（白久）表彰後に来場者が帰ってしまうため、表彰と映画の順番を入れ替えられないかを教育委員会に提案したが変更できなかった。令和6年は再度協議する。

■ 令和3、4、5年度の活動評価

・疑似体験にろうあ者が来た際の対応方法を想定すべきだった

→「耳マーク」のような支援が必要なことを手で指して伝えられるようなものを各ブースに置いておき、支援を必要とする場合は手話の会の通訳者に依頼する。手話の会にも事前に伝える。

・作成したパネルを視覚障がい者にもわかるように音声で案内できないか

→ボランティアの方に依頼してパネルの内容を音声化してもらい、展示の際にプレーヤーで音声を流す。

・アプリの実演、体験ができないか

→福岡市では業者を複数呼んで実演・体験できる催しを開催していた

・小冊子を作って配布できるとさらによい

→制度は変更も多いため、冊子は古い情報になっていく。冊子や紙には情報の概要のみ掲載する

・総合的には4付近の評価が多く、おおむね「できた」という意見だった

4. その他

- ・今月で3年間の任期が終了、次年度以降の活動に関しては4月以降にまた委員を依頼する予定
- ・協議会のあり方、活動方法の見直しを検討する

5. 閉会